



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 461号

2013. 3. 29
毎月1回発行

発行責任者
岸田義典

目次

2013

3月号

- パリ国際農業展示会「SIMA2013」視察 2
国際農業機械化研究会理事 岸田義典
- 国別輸出入（2013年1月）..... 12
- WORLD NEWS 17
- EVENTS CALENDER 19



国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 461 回海外農機事情報告会を平成 25 年 3 月 21 日 (木) に開催した。講師は、国際農業機械化研究会理事長 (株)新農林社 代表取締役社長) 岸田義典氏。岸田氏は、2013 年 2 月 24 日～28 日にかけてフランスのパリで開かれた「SIMA」展を視察。その視察の様子を映像と共に報告した。

要旨は以下の通りである。

SIMA-SIMAGENA2013：過去最高記録達成

2013 年 2 月 24 日から 28 日までパリ北部 Villepinte にて、「SIMA-SIMAGENA」が開催されました。25ha を超える会場には、約 40 カ国から 1,700 社にのぼる企業が出展、過去最高規模での開催となりました。

今年は、農業機器部門が盛り上がりを見せています。SIMA の入場者は、24 万 8,800 人 (海外からは 1/4 にあたる 6 万人以上) と、前回の同展より 18% 以上増加。全世界的に農業機械化に関する需要が新興国を中心として増えてきているという表れだと思います。各イベントには、各国の閣僚や約 30 カ国から政府関係者、330 カ国以上から視察団も参加。高性能で持続可能な農業や次世代農業の最新技術を一目見ようと集まった人々で、展示会場は活気に満ちていました。全ホールは 7 つに分けられ、

その中のホール 1 と 2 には本物の牛が運び込まれ、畜舎が再現されていました。3 から 7 のホールは、農業機械や部品関係の展示です。最新機器やシステムをリアルに見られるほか、同業他社との出会いや意見交換ができるという世界中の農業関係者にとって格好の場となりました。

展覧会マネージャーであるマルティーン・Dégremont 氏は、「SIMA-SIMAGENA 2013 は、農業分野のリーディング展示会としての地位を確立した。75 回目を迎える今年のショーは天候にも恵まれ、成功裡に幕を閉じた。我々はすでに、SIMA-SIMAGENA 2015 年に向けて準備を進めている」と述べました。

同じ時期に、「SIA (サロン・インターナショナル・アグリカルチャー)」という国際農業展が、パリのポルト・ド・ベルサイユという展示場で行われまし